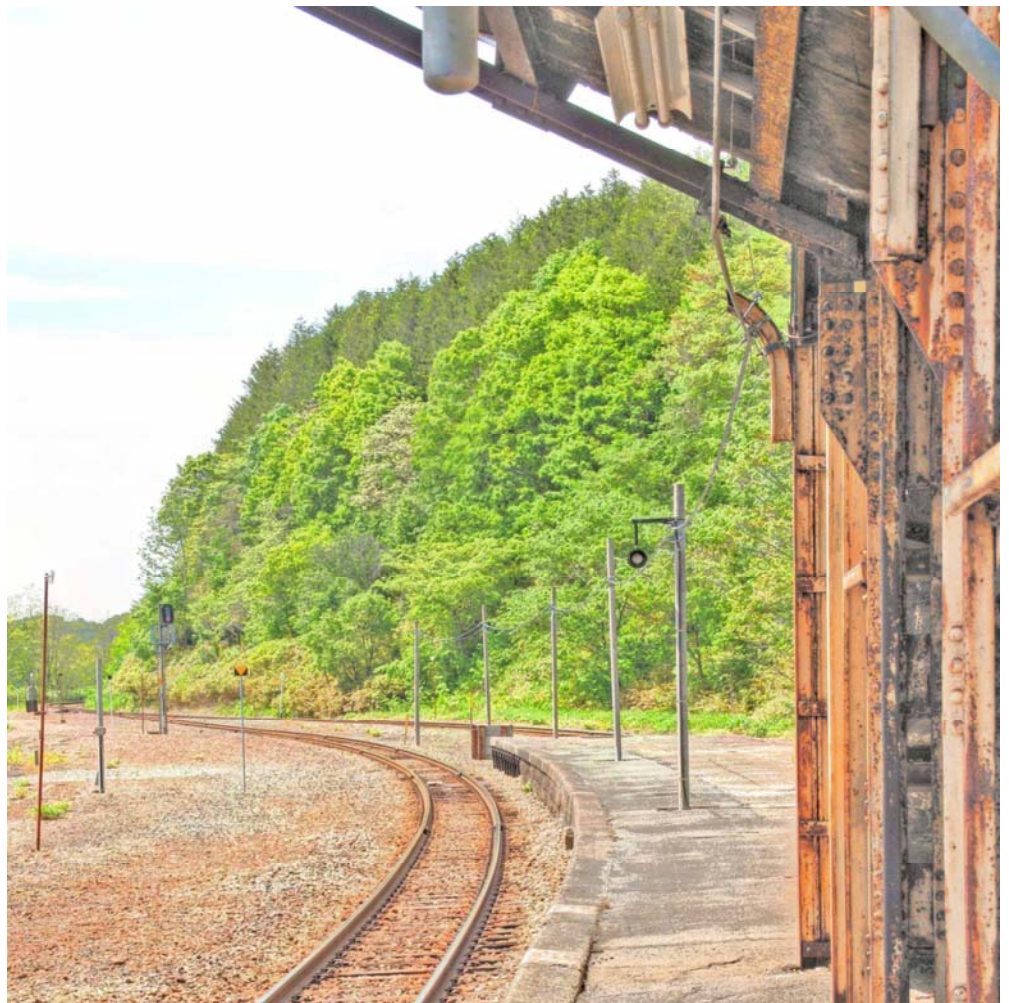


平成 27 年度 職員提案集



平成 28 年 4 月

高松の未来を創るアイデアが今ここに。

【編】高松市 総務局 人事課 行政改革推進室

平成 27 年度 職員提案集

高松の未来を創るアイデアが今ここに。

《目次》

(採用提案)

1 資料管理と事務効率化を図るためのシステム構築（ナンバーリングとロケーション管理システム）	表彰！	3
2 WELCOME TO 高松市美術館！	表彰！	7
3 エレベータ入り口にミラーを設置し、安全で快適なエレベータ運行を。	表彰！	9
4 プライバシーに配慮した窓口	表彰！	11
5 瀬戸内国際芸術祭 2016 の開催に合わせて、高松市を活性化する施策について		13
6 UD 推進室は、デザイン企画室へ！		15
7 AIDS IS NOT OVER だから ここから		17
8 BGMによる庁内環境改善		19
9 高松市健康都市推進ビジョンの実践に向けて～ウォーキングコースの紹介～		21
10 「子育てするなら高松市」実現のための本庁舎改革		23
11 公共交通機関に無料 WI-FI 環境を整備し、観光客向けネットワーク環境をネットワーク化		25
12-14 不採用となった提案		28

《審査の流れ》

職員提案の提出



提案内容に係る
所管課の検討



人事課での審査



採用・不採用の
決定

1 資料管理と事務効率化を図るためのシステム構築（ナンバリングとロケーション管理システム）



提案者	河港課 石崎 美由紀	提案の種別	B（実績提案）
提案の概要	資料探しにかかる時間を短縮し、適切な資料管理・情報管理を行うため、また、職員の異動時や、フロア変更やレイアウト変更等で資料の保管場所を整理する際にも、全体量等が把握でき、整理に伴う保管場所変更等による問題が生じないようにするため、資料の保管場所を、誰でも、簡単に、すぐに探せて、分かりやすく表示するシステムを構築し、業務の効率化を図ったものである。		
採用理由	ナンバリングによる資料の整理に留まらず、ロケーション管理データベースにより書類の位置を課内で共有し、書類を探すというムダを削減することで職員負担の軽減を可能にした、発展的な取り組みになっている。これは、多くの課にあてはまる一般的な課題であり、全庁的に参考にしてほしい取り組みである。		

【ナンバリングとロケーション管理システムのイメージ】

◎書棚に番号を振り、枝番号は棚番号(上から順に1段目→1、2段目→2、・・・)とする。



◎探したい資料の資料名(の一部)を入力し検索すると、保管場所(書棚の位置と棚の段)が表示されるデータベース(DB)システムを構築。

必要な書類ファイルのファイル名(の一部)を入力して検索

ファイルの保管場所棚の位置と段が表示される

該当ファイルが表示される→検索結果から必要としているファイルを選択し、「ロケーション表示」をクリック

●提案内容（新たな方策、工夫、改善等について、簡潔に記載してください。）

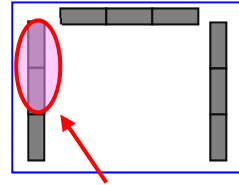
資料の保管場所や運用ルールは決めているものの・・・

大体あの辺にあるのは分かるけど、扉を開けてみないと具体的にどこにあるかは分からんわー。

長期貸し出しで空いているスペースがあるから、とりあえずこの空いているスペースに置いておこう。

あれってどこだっけ？担当の人は分かると思うけど。。。

引っ越しで書棚の位置が変わったんで、すぐには探せんわ。



この案件の資料はこの辺ね。使ったら元の位置に戻してね。

【改善前に発生していた問題1】あの書類ファイルって、どこにあるの？

常用のため執務室の書棚に保管している書類ファイルであっても、業務の性格により、使用・閲覧頻度が異なるため、よく使うもの以外は、保管した本人や業務担当者でないと十分に保管場所が握できていなかった。

【改善前に発生していた問題2】何も生み出さない無駄な労力、時間が発生。

○必要なときに必要な書類ファイルをすぐに見つけれず、探しものの時間が発生した。

【改善前に発生していた問題3】元の位置に戻ってこない。空いた隙間に別のファイルが。

○元の位置に戻すルールが不徹底で、長期の貸し出しや使用があると、空いたスペースに他のファイルが入れられたり、貸出や使用していたファイルの元の位置がどこだったかが分からなくなり元と違う場所に返却され、さらに場所が分からなくなることがあった。

【改善前に発生していた問題4】前の人に聞かないと分かりません。

○そのファイルの場所を良く把握していた前任担当者が異動すると、次の担当者が必要としたときに、周りの人にどこにあるのか聞いても、前任者に聞かないと詳しくは分からないとしか回答できないということがあった。

●目的（何のためにしたのか、ねらいは何か記入してください。）

- 資料探しにかかる手間をなくす。
 - 適切な資料管理・廃棄・除却を行う。
 - 担当職員の異動等の際にも問題が生じないようにする。
- ⇒ 限られた人員・時間の中で、負担なく事務効率化を図る。

●改善策（誰にどんなことを実施したのか、何をどう変えたのか等、対象と手段等を具体的に記入してください）

資料に番号を振る（ナンバーリング）

- 1つ1つに固有の番号を振る → 番号の振り方のルール化が困難。
（技術部署で定型的な業務ばかりではないため、意味を持たせた枝番の設定が難しい。）
- すでに棚でグループ化されている → 同じ業務のくくりのものは同じ高さの棚にある。



◎書棚に番号を振り、枝番号は棚番号（上から順に1段目→1、2段目→2、・・・）とする。



ロケーション管理データベースを構築

- 新規に費用をかけず、職員のスキルを利用して、資料の場所（ロケーション）を登録したデータベース・検索システムを構築。
- 検索性、位置表示をしやすくするため、現行の情報システムの中で使用可能な Microsoft Access を使用。



◎探したい資料の資料名（の一部）を入力し検索すると、保管場所（書棚の位置と棚の段）が表示されるデータベース（DB）システムを構築。

ロケーション管理 DB システム

必要な書類ファイルのファイル名（の一部）を入力して検索

ファイルの保管場所棚の位置と段が表示される

該当ファイルが表示される→検索結果から必要としているファイルを選択し、「ロケーション表示」をクリック

●費用（改善等に要した経費、所要時間等）

○課職員によりシステム構築を行ったため、費用は発生していない。

●改善後の効果

【効果 1】関連資料も含め、資料探しに係る不要な時間がなくなった。

○書棚番号と棚段数番号によるナンバーリングとしたため、整理時（収納時）に、書類のグループ分けがされていることから、関係する資料群が常に周辺にあり、関連資料が探しやすい。

○また、ナンバーリングのルールが簡単なため、資料整理時（収納時）に、資料分類で悩む必要もなくなった。

【効果 2】担当でないと場所が分からないということがなくなった。

○異動したての職員でも、ロケーション管理 DB システムにより、キーワードで検索できるため、必要な書類がすぐに見つけられるようになった。

○必要資料名を伝えるだけで良くなったため、引き継ぎが簡単になった。異動する側も異動して来た側も、双方とも負担が減った。

【効果 3】書棚の扉の開け閉めの回数が減り、書棚前の職員の負担が減った。

○探す場所（書棚、棚の段数）を把握した上で目的の書類ファイルを取り出すので、目的のファイルを探していくつも扉を開け閉めしたり、書棚の前でたたずむといったことがなくなり、書棚の前に席のある職員に係る負担・迷惑が減った。

【効果 4】扉のある書棚のメリットが負担なく活かせるようになった。

○扉を閉めていても中に何があるか分かるため、扉を閉めたままで業務が遂行でき、不必要に書棚の中身を見せない（情報管理上のメリット）、ファイルが雑多に置かれているように見えない（整理整頓上のメリット）という、扉のある書棚のメリットが活かされるようになった。

→ 背表紙記載内容から保有情報の内容が外に見えてしまうことを防止

→ 高さや色の違うファイルが並んでいることで雑然と見えてしまうということを回避

【その他】レイアウト変更があっても対応可能。

○フロアの引っ越しやレイアウト変更があっても、電子データを修正するだけで容易に対応可能。

（数値化できる効果）

○他課からもどんなシステムか聞きに来た事例あり。

2 WELCOME TO 高松市美術館！

表彰提案！

提案者	美術館美術課 今井 真衣子	提案の種別	A（自由提案）
提案の概要	香川県への欧米の観光客が急増する中、美術館のHP、受付のQ&A、展覧会パンフレット、案内ボードなどを英語化することで、外国人観光客が楽しみ、高松の魅力を伝える美術館を目指す。		
採用理由	瀬戸内国際芸術祭やインバウンド需要の伸びなど、本市を訪れる外国人観光客が増加している中、外国語対応の充実により、高松市美術館を外国人観光客にPRすることが可能になるため、実施すべきである。ただし、予算を伴うものについては、外国人観光客の来館者数も加味して、十分検討を行った上で実施する必要がある。		

(詳細な内容)

●提案内容（新たな方策、工夫、改善等について、簡潔に記載してください。）

現状

高松市美術館の外国語対応は、館内サイン、HPは一部英語対応となっているが、展覧会情報、館内案内、サービス内容等については不十分な部分がある。また、一部職員に外国語対応が可能な者がいるものの、多くの職員・看視員が外国語対応を十分に行える状態ではない。

2015年9月初旬にとった看視員アンケートのうち、「外国語での対応不足や外国語対応の必要性」を指摘した方は18名中6名おり、芸術祭等の影響で年々外国人来館者が増える中、外国語対応への不安がある職員は少なくない。

一方、実際のデータとして香川県への外国人観光客が急増しており、外国人の来館及び問い合わせが増えてきている。2016年に瀬戸内国際芸術祭、2020年に東京オリンピックを控えており、外国語対応を充実させていくことは必要不可欠であると考える。

提案内容

- ・HP上での外国語対応の充実を予定している（H27年度以降）。
- 基礎情報（美術館について、施設情報、アクセス、料金、開館時間等）：英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語、フランス語
- 展覧会情報：英語
- ・各外国語のQ&Aファイルを作成。各受付へ設置し、指さしでの対応を可能にする。
 - ・展覧会情報の英語パンフレットを作成。各受付で配布する。
 - ・受付に英語表記の案内ボード（相互割引制度等）を掲示又は常備しておき、必要があるときに提示する。
 - ・1Fロビー（wifi使用可能な情報提供コーナー）に外国人観光客向けの情報提供コーナーを設置。瀬戸内国際芸術祭、栗林公園、高松のおすすめイベント情報、など外国語版チラシ等を集めて自由に提供できるようにする。
 - ・今後、さらに外国人来館者が増えると見込まれたら、タブレットを受付に設置し、自動翻訳機能の付いたアプリケーションをダウンロード（無料のものもあり）し、話した内容を即時通訳できるようにする。

効果

外国人観光客の方へ、高松市美術館へようこそ！という姿勢でできるだけ不便をかけず美術館を楽しんでいただき、高松の魅力を伝える情報発信機能を持つ美術館を目指す。また、受付でのQ&Aファイル等の効果が上がれば、他の観光スポットや本庁舎への応用も可能であると思われる。



どのように、提案を実現するのか？

職員提案実施計画書

部局名 創造都市推進局	所属名 美術館美術課
<p>(職員提案をどのように実施していくか)</p> <p>1 目的 香川県への外国人観光客が急増している中、外国人観光客の方へ、高松市美術館へようこそ！という姿勢でできるだけ不便をかけず、美術館を楽しんでいただき、高松の魅力も合わせて伝える美術館を目指す。</p> <p>2 内容 平成 27 年度中にホームページの多言語対応、展覧会の英語パンフレットの設置を行う。平成 28 年度中に、英語等の案内ボード（館内の使い方、観覧券情報等）及び館内サービスの Q&A 指さしボードを受付に設置する。また、外国人観光客へのアンケート用紙の配布を通じ、外国人観光客数のおよその把握や使用言語の調査を行い、平成 29 年度以降の参考にする。また、受付等に高松の情報パンフレット（英語等）を設置し、情報発信を行う。</p> <p>3 課題とその対応方針 外国人観光客の方の求めている情報等を調査し、検証する必要がある。その上で、今後タブレット等を設置するべきかなど、美術館の方向性を検討する必要がある。</p>	
<p>※ 実施又は採用が見込まれる課の範囲</p> <p> <input type="checkbox"/> 当課のみ <input type="checkbox"/> 全庁の課 <input type="checkbox"/> 一部の課 <input checked="" type="checkbox"/> 一部の課（観光・文化施設等） </p>	

3 エレベータ入り口にミラーを設置し、安全で快適なエレベータ運行を。

表彰提案！

提案者	ちゃんこ会（有志グループ）	提案の種別	A（自由提案）
提案の概要	エレベータ操作盤位置から庫外を見ると、対角線側は奥まで見通せるのに対し、自分側方向は外を覗かないと見えないため、エレベータに乗ろうと待っている人が死角にいた場合、「乗り残し」や「挟み込み」が発生する可能性があることから、安全で快適なエレベータ運行を行うため、エレベータ入り口に鏡（広角鏡）を付ける。		
採用理由	本庁舎のエレベーターは、職員のみならず市民も利用しており、管理が行き届きにくい状況にあるが、本提案はわずかな経費で、「挟み込み」や「乗り残し」といった安全面やサービス面でのリスクを回避することが出来るため、市民利用の多い、本庁舎西側のエレベーターを中心に実施すべきである。		

（詳細な内容）

●提案内容（新たな方策、工夫、改善等について、簡潔に記載してください。）

【現状】

○エレベータ操作において、操作盤位置から庫外を見ると、対角線側は奥まで見通せるのに対し、自分側方向は外を覗かないと見えない。

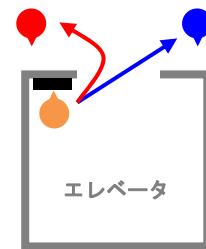
○エレベータでは、「閉じる」のボタンを押して扉を閉める操作している人がほとんど。

○エレベータに乗ろうと待っている人が死角に立っていた場合、「乗り残し」が発生する可能性がある。

○また、死角から突然に乗って来られた場合、「挟み込み」となりかかる可能性がある。

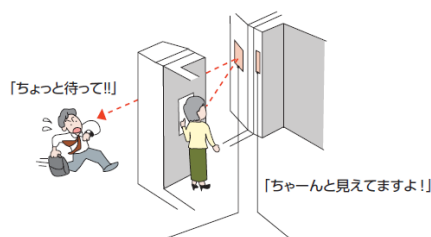
○待っている人がいるのかいないのか分からず、確認待ちで、エレベータの運行が遅くなり、待ち時間が延びる可能性もある。

×見えない ○見える



【改善策】

○エレベータ入り口に鏡（広角鏡）を付けることで、「挟み込み」や「乗り残し」の防止を図り、安全で快適なエレベータ運行が行えるようにする。



ミラー製造メーカー

パンフレットより

○エレベータ本体の改造は不要で、鏡を貼るだけで済む。

○デパートやホテル、オフィスビル等でも、挟み込み事故防止、乗り残し防止のために入り口ミラーが付いているのを見かけるほか、他市訪問時に訪問先市役所でも設置されていた事例がいくつかあった。



どのように、提案を実現するのか？

職員提案実施計画書

部局名 財政局	所属名 財産経営課
(職員提案をどのように実施していくか) 課題とその対応方針 当課の想定では、本提案の実施にあたっては、わずかな経費では実施は不可能であり、多額の経費が見込まれるほか、実効性が不明であることから、設置するとすれば、どのようなものが望ましいのか、また、設置工事に伴うエレベータ停止による影響等も含めて検討した後、試験的に一部設置し、効果が検証されれば、他のエレベータにも設置を進める。	
※実施又は採用が見込まれる課の範囲 <input checked="" type="checkbox"/> 当課のみ <input type="checkbox"/> 全庁の課 <input type="checkbox"/> 一部の課 <input type="checkbox"/> 一部の課	

4 プライバシーに配慮した窓口

表彰提案！

提案者	市民課 八木 智子	提案の種別	A（自由提案）
提案の概要	個人情報を大量に取り扱う市役所で、隣の窓口での情報が筒抜けになるような窓口の作りになっている。そこで、銀行のように半個室状の窓口を設置するとともに、1Fフロアの相談室を増設し、個人情報の漏えいを防ぐ。		
採用理由	隣り合う窓口間の距離が近すぎるため、相談に来られた方のプライバシーや個人情報保護に配慮する必要性は高いため、今後実施が検討されている窓口のUD化に併せて、実施すべきである。		

(詳細な内容)

●改善策（誰にどんなことを実施したのか、何をどう変えたのか等、対象と手段等を具体的に記入してください）

現状

市民課は住所、戸籍、年金等、最も重要かつ全サービスの基本になる個人情報を扱っています。それ以外にもDV相談や障害年金相談など、プライバシーに大きく関わるお話をされるお客様がたくさんいらっしゃるにも関わらず、市民課には相談用の個室（もしくは相談者がほかの市民から見えないようなパーテーション）がなく、新たな場所の確保も困難です。

実際、障害年金の相談窓口のすぐ隣では他のお客様（互いの距離は50センチほど！）が別の手続きをしており、双方の情報が漏れている状態です。特に障害年金に関しては、長い間思い悩み、勇気を振り絞って相談に来られる方もいらっしゃいますし、相談の過程で、拒食、リストカット、自殺未遂等、非常に話しにくい内容について言及しなければならないこともあります。

また、DV支援措置の方の相談窓口に関しても、市民課奥の応接コーナーか、そこが空いていなければ通常の窓口カウンターでの対応となっており、障害年金と同様他の市民の目から隠れるような構造になっていません。

この提案はあくまで、「障害＝人の目から隠すべきこと」という認識ではなく、申請者が安心して来庁し、気兼ねなく職員に相談していただけるような環境を整えるべきだとの思いから窓口の目隠し機能の改善を提案するものです。

提案内容

1 窓口をプライバシーに配慮した形に改良する

銀行の様に半個室状の窓口を設置する

条件① 他の市民から相談者の顔が見えず、かつ会話の内容が分からないと

条件② 防犯上、完全な個室でないこと。防犯カメラ、音声レコーダーの設置を認めること。

2 新たに相談室を創設する

フロア全体で利用できる相談室を設置する

現状として各課でスペースを確保することが難しいため、例えば、一階であれば国保・高齢者医療課、市民課、介護保険課の3課が合同で利用する相談室を1階喫煙スペース横等に設置するなど、複数の課が共有できる個室であることが望ましい。

実現による効果

- 相談者** プライバシーが守られ、安心して相談できる
- 職員** 隣の窓口のお客様との兼ね合いを気にせず、相談内容に集中できる
- 相談者・職員** 新たな相談スペースができることで、受付窓口が増え、混雑を防止できる



どのように、提案を実現するのか？

職員提案実施計画書

部局名 市民政策局 健康福祉局	所属名 市民課 国保・高齢者医療課
(職員提案をどのように実施していくか)	
1 目的 窓口カウンターでの保険料の納付に関する相談等、市民対応におけるプライバシー保護	
2 内容 窓口カウンターでの市民対応については、隣の会話や文書など、双方の情報が漏れないよう衝立の設置等を行う。	
3 課題とその対応方針 窓口への衝立設置等の必要があり、庁舎管理部署との調整が必要と考えられることから、今後、本庁舎におけるUD化への取組みの中で検討したい。	
(実施による予測効果)	
窓口を衝立で仕切ることなどにより、来庁者のプライバシー保護を図る。	
※実施又は採用が見込まれる課の範囲 <input type="checkbox"/> 当課のみ <input type="checkbox"/> 全庁の課 <input checked="" type="checkbox"/> 一部の課	

5 瀬戸内国際芸術祭 2016 の開催に合わせて、高松市を活性化する施策について

提案者	保健センター 寒川 多加生	提案の種別	A (自由提案)
提案の概要	瀬戸内国際芸術祭の会場では、大半の移動が徒歩で、かなりの運動量が見込まれるので、作品展示に標準的な所要時間やカロリーを記載したり、万歩計を貸し出してコンテストを行うなど、参加者へのヘルスツーリズムを提案する。		
採用理由	本取組は、瀬戸内国際芸術祭において、国内外から多くの観光客が高松市を訪れる中、健康増進に対する本市の取り組みをPRすることが出来る上、地元の市民も参加しやすく、瀬戸内国際芸術祭が身近なものに感じられるという効果が見込める。		

(詳細な内容)

●提案内容(新たな方策、工夫、改善等について、簡潔に記載してください。)

1. 高松市の現状

高松市は多くの地方都市と同様、自家用車で移動することが多く、歩行量が少ない。そのことは生活習慣病、特に糖尿病患者の増加や高齢者の要介護認定率の上昇に繋がっていることが推測される。

2. ヘルスツーリズムとしての瀬戸内国際芸術祭

前回の瀬戸内国際芸術祭に参加した職員によると、会場内、展示物間等、現地では大半の移動が徒歩であり、かなりの運動量であったとの声があった。このことは旅行・観光の中で健康回復・増進を図るヘルスツーリズムといえる。また、芸術作品を見ることは心の健康面に寄与し、2016年は食のプロジェクトも開始されることから、より一層ヘルスツーリズムの要素が強まると考えます。

ヘルスツーリズムの面をアピールすることで、前回興味を示さなかった方にも参加意欲を促し、瀬戸内国際芸術祭の魅力を高めることに繋がります。

3. 具体的な取組み

案①歩いて移動できる会場では移動距離、標準的な所要時間と消費カロリーを展示のガイドに記載し、自身で確認してもらう。

案②会場ごとに万歩計を貸出、会場を見た後に返却し、歩数をエントリーシートに記録する。芸術祭終了後に、期間中の歩数の多かった人に景品を贈る。万歩計に関してはオムロンやタニタにスポンサーとして協力を求める。

案③瀬戸内国際芸術祭公式アプリに歩数カウント機能を搭載し、歩数のみならずカロリー消費を計測、期間中の歩数の多かった人に景品を贈る。

●実行後の予想成果

ヘルスツーリズムの面をアピールすることで、下記の内容が期待できます。

- ・健康づくりを兼ねて、瀬戸内国際芸術祭に参加する方が増える。
- ・参加後も健康づくりも兼ねて、他の屋外型のイベントに参加する機会が増える。
- ・参加後に健康のためにウォーキングを開始・継続する方が増える。



どのように、提案を実現するのか？

職員提案実施計画書

部局名 健康福祉局	所属名 保健センター
<p>(職員提案をどのように実施していくか)</p> <p>課題とその対応方針</p> <p>瀬戸内国際芸術祭と共催が可能かどうか、文化振興課及び実行委員会事務局とも協議をしながら進める必要がある。また、リーフレットやパネルなどを作成して配置し、自由に活用してもらうことは可能かもしれないが、作成予算については当課の予算化は難しい。</p>	
<p>※実施又は採用が見込まれる課の範囲</p> <p><input type="checkbox"/>当課のみ <input type="checkbox"/>全庁の課 <input checked="" type="checkbox"/>一部の課</p>	

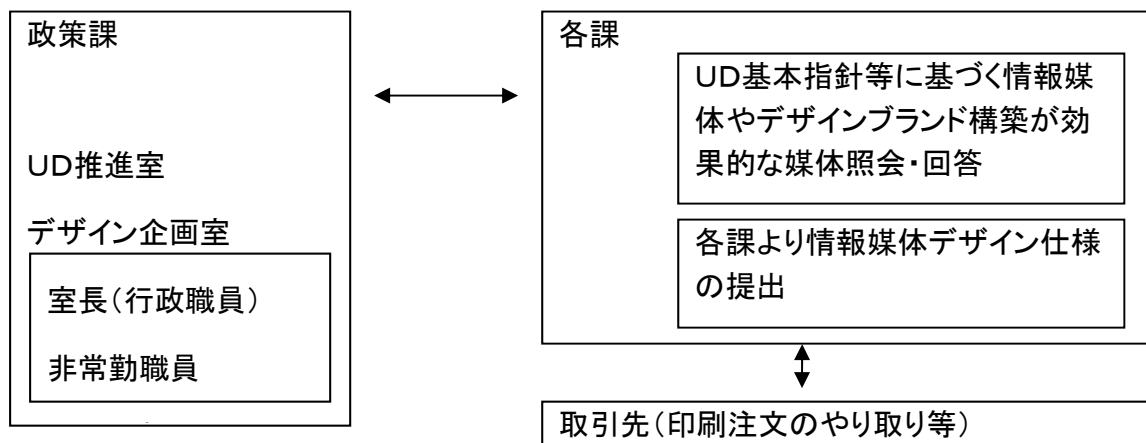
6 UD推進室は、デザイン企画室へ！

提案者	人事課 六車 明人	提案の種別	A (自由提案)
提案の概要	高松市UD推進基本指針及びマニュアルを基に、全庁的な刊行物、ポスター、チラシ、ホームページなどの情報サービス部門において、デザイナー職を雇用し、UDを盛込んだ市発信の情報媒体のデザインブランド企画と、内製化によるコスト低減及び行政職員の効率向上を狙う。		
採用理由	専門的な技術を持つデザイナー職員による媒体作成により、市の情報発信におけるデザイン力向上とデザインの統一が図られるとともに、内製化によってポスター等作成の委託費や契約事務に係る職員負担の軽減につながるため、導入すべきである。		

(詳細な内容)

●提案内容 (新たな方策、工夫、改善等について、簡潔に記載してください。)

- ・各課・各イベントの情報媒体企画集約によるデザインブランドの確立
- ・情報媒体デザインの内製化によるコスト低減
(行政職員が行うよりも省時間かつ高品質、デザイン調整が容易など)
- ・職務としてのデザイナー雇用という創造都市ブランド向上へのインパクト



↓
どのように、提案を実現するのか？

職員提案実施計画書

部局名 市民政策局	所属名 政策課ユニバーサルデザイン推進室
(職員提案をどのように実施していくか)	
1 目的	
本市が行うさまざまな情報発信について、デザイン力の向上とデザインの統一を図るとともに、ポスター等の作成に係るコストの低減を図る。	
2 内容	
専門的な技術を持つデザイナーを雇用し、全庁的な刊行物、ポスター、チラシ、ホームページなどの作成はデザイナーが行うことで、デザインの統一とデザインブランドの確立を行う	
3 課題とその対応方針	
創造都市推進局を中心に、所属毎でチラシやポスター、ホームページのデザインについての特色を持たせていると思われるため、本市全てのデザインについて統一を図ることは困難であると思われる。	
また、デザインはデザイナーの個性が強く反映し、デザイナーが変わった場合、デザインの基調も大きく変わると予想され、デザインブランドの確立は困難であると思われる。	
そのため、本市としては、まず、コストとの兼ね合いの中で優先事項を決定し、デザインについて庁内での統一された考えを持つ必要がある。	
(実施による予測効果)	
コストのみで考えた場合、チラシやポスター等のデザインを、本市が雇用したデザイナーが作成することで、コストの低減につながる可能性はある。しかし、デザインの統一には上記の課題もあるほか、同じ職員にデザイン作成作業が集中することで、ポスター等の作成スケジュールに遅れが生じる可能性もある等、マイナス効果が出る恐れもあることから、本提案の実施による効果を予測することはできない。	
※実施又は採用が見込まれる課の範囲	
<input type="checkbox"/> 当課のみ <input checked="" type="checkbox"/> 全庁の課 <input type="checkbox"/> 一部の課	

7 AIDS IS NOT OVER だから ここから

提案者	感染症対策室 関守 翔子	提案の種別	A (自由提案)
提案の概要	AIDSは、男性の同性愛者間に多いため、市役所の男性トイレに年2回名刺サイズの防止啓発リーフレットを設置し、周りの目に配慮するとともに、来庁者への周知啓発を行う。		
採用理由	本提案は、AIDSのハイリスクグループである男性同性間性的接触者への感染に対する周知啓発への有効な手段となるものであり、啓発パンフレット等を市民利用の多い1、2階のトイレ等に設置すべきである。		

(詳細な内容)

●提案内容（新たな方策、工夫、改善等について、簡潔に記載してください。）

市役所の男性トイレ（手洗い場）に、6月、12月に名刺サイズのリーフレットを置く。

- ・ハイリスクグループの人は、周りの人（家族を含む）にカミングアウトしていないことが多い。そのため、ハイリスクグループに対する啓発は、周囲の目線を気にしない場所で行う必要がある。そのため、人が少ないトイレへ配置。
- ・名刺サイズであれば、人目につかず、持つことができる。
- ・誰もが利用するトイレに置くことで、幅広い年齢層の人の目に触れ、若年層・中高年の人にも、関心を持ってもらうことができる。
- ・一年中リーフレットを置いておくと、ほこり等にて汚れ、リーフレットに対する関心が薄れる可能性がある。そこでまずは年に2回配置する。HIV検査普及週間である6月、世界エイズデーである12月にリーフレットを置く。

（6月、12月それぞれ1日に配置し、末日に引き上げる。）

今後の検討課題

- ・リーフレットの効果（リーフレットの残数、高松市保健所のHIV検査時のアンケートにて調査し、検討）を見て、リーフレット内容、置く時期を見直す。また、リーフレットの効果によっては、市役所のトイレにHIVについてのシールを貼ることも検討。
- トイレの個室であれば、周囲を気にせず、シールを見ることができる。



どのように、提案を実現するのか？

職員提案実施計画書

部局名 健康福祉局	所属名 感染症対策室
(職員提案をどのように実施していくか)	
1 目的	
HIV/AIDS の中で割合が高い男性同性間性的接触者に対して、HIV の正しい知識、HIV 抗体検査を周知、啓発する。	
2 内容	
市役所の男性トイレ(1階、2階)に6月、12月に名刺サイズのリーフレット(案2)を置く。6月、12月それぞれ1日に配置し、末日に引き上げる。配置場所は個室、手洗い場を検討。	
3 課題とその対応方針	
トイレの管理が困難になることに対しては、リーフレットが床に散らばったり、不潔になることを防ぐために、リーフレットをジップロック等の袋に入れ吊り下げたり、ケースにリーフレットを入れケースを壁に貼り付ける。	
(実施による予測効果)	
リーフレットを見てエイズへの関心が高まる。男性同性間性的接触者のコミュニティは狭く、口コミにて関心が高まり、HIV 抗体検査を受検する者が出てくると考える。	
※実施又は採用が見込まれる課の範囲	
<input type="checkbox"/> 当課のみ <input type="checkbox"/> 全庁の課 <input checked="" type="checkbox"/> 一部の課 (2 課程度)	

8 BGMによる庁内環境改善

提案者	道路管理課 山子 洋	提案の種別	A (自由提案)
提案の概要	現代社会を象徴するストレス。高松市においても例外なく、庁内の随所に様々なストレスが渦巻いている。窓口の待ち時間や職員の対応に憤慨する市民。上司や市民のプレッシャーと戦い、のた打ち回る職員。そんな負の空気が充満するフロアに、爽やか・軽快・優雅なBGMを流すことにより、素敵な空間を演出し、ストレスの緩和や職員の業務効率の向上を図る。		
採用理由	他市の取組を見ても、音楽による市民や職員のストレス軽減やリラックスの効果は十分期待できるものの、逆に不快に感じる人がいる可能性もあるため、市民利用の多い1、2階を中心に試験的に導入し、アンケートの結果により本格的な実施を検討すべきである。		

(詳細な内容)

●提案内容 (新たな方策、工夫、改善等について、簡潔に記載してください。)

◇方法

庁内にBGMを流す。以上。

◇期待される効果

イメージ誘導効果、リラックス効果、感情誘導効果

→対市民：窓口待ちによるストレス緩和など

→対職員：業務効率の向上、ストレス緩和など

◇効果の測定

市民、職員に対しアンケートを実施する。

例、市民課等で試験的に実施し、市民に対しアンケート調査を行う。

全庁的に試験実施し、職員に対しアンケート調査を行う。

◇その他

他市で多数事例あり。

職場等におけるBGMの有効性について、音楽心理学に基づき一定の効果があるとされている。



どのように、提案を実現するのか？

職員提案実施計画書

部局名 総務局	所属名 人事課
<p>(職員提案をどのように実施していくか)</p> <p>1 目的 BGMにより、職場の雰囲気高め、市民・職員のストレスを軽減・緩和し、職員の業務効率の向上を図る。</p> <p>2 内容 既存放送設備で実施可能である試行課を決定し、その課に合ったBGMを選曲、放送する。</p> <p>3 課題とその対応方針 既存放送設備で実施が困難な場合、改修工事が必要となり、費用対効果を十分に検討する必要がある。 また、仕事の邪魔にならず、市民にとっても不快に思われないBGMでなければならぬため、曲の選定には、十分な配慮が必要である。</p>	
<p>(実施による予測効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員及び市民にアンケートを実施し、「ストレスが緩和された、効率が上がった」など、『効果がある』と答えた人が80%を超える ・BGMを流す前と後では、苦情件数が劇的に減少する ・職員のメンタルヘルス不調者が減少する <p>※ 実施又は採用が見込まれる課の範囲</p> <p><input type="checkbox"/>当課のみ <input type="checkbox"/>全庁の課 <input checked="" type="checkbox"/>一部の課</p>	

9 高松市健康都市推進ビジョンの実践に向けて～ウォーキングコースの紹介～

提案者	保健対策課 川西 沙奈恵	提案の種別	A (自由提案)
提案の概要	高松市健康都市推進ビジョンの実践のため、ホームページ上に推薦するウォーキングコースを市民から公募し、その紹介を行うことでウォーキングの魅力を市民に伝え、健康づくりを促す。		
採用理由	市民の間で健康志向が高まっている状況の中、本提案により、市民がウォーキングに対してより関心を高め、健康増進につながるため、実施すべきである。		

(詳細な内容)

●提案内容 (新たな方策、工夫、改善等について、簡潔に記載してください。)

本市では、平成 26 年 3 月に策定した「高松市健康都市推進ビジョン」に基づき、全ての市民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現に向け、様々な取組を行っています。

このような中、多くの市民が健康づくりのためにウォーキングを行っており、近年、ますますその人気が高まっているように見受けられます。

朝の涼しい空気の中でのウォーキングは、精神的にもすがすがしく、若者からお年寄りまで幅広い世代の方が、手軽に行うことができる、健康づくりにはぴったりのスポーツだと思えます。

このウォーキングの普及・推進に取り組むことにより、市民の生活習慣の改善が図られ、ひいては、健康寿命の延伸につながると考えています。

そこで、ウォーキングを行う方は、それぞれ自分のお気に入りのコースがあるかと思いますが、そのコースの募集を広く市民から行い、ホームページ上で紹介する方法を提案します。

観光地以外にも、意外なビューポイントや、あまり知られていない素敵スポットが発見され、ウォーキングがもっと楽しくなるかもしれません。

【紹介する内容】

- ・ウォーキングコース
- ・歩行時間
- ・距離
- ・おすすめポイント



どのように、提案を実現するのか？

職員提案実施計画書

部局名 健康福祉局	所属名 保健センター
<p>(職員提案をどのように実施していくか)</p> <p>1 目的 市民が作った市民に身近なウォーキングマップを広く周知し、健康づくりのために、手軽な運動がしやすい社会環境を整える。</p> <p>2 内容</p> <p>①平成 25 年度から 3 年間実施した「健康チャレンジ事業」において、各地区コミュニティ協議会等が作成した、身近なウォーキングコースの提供を受ける。</p> <p>②①のウォーキングコースを活用し、ウォーキングマップの作成を行う。マップは「健康チャレンジ事業の取組報告」冊子に掲載する。</p> <p>③①のウォーキングコースをホームページでも紹介する。</p> <p>④「健康チャレンジ事業の取組報告」冊子を各地区コミュニティ協議会等に配布して活用していただく。</p> <p>3 課題とその対応方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングマップ単独での冊子作成は、次年度は難しいことから、「健康チャレンジ事業」で市民から提案いただいているコースを採用する。その際、全市的にコースが設定されてはいないため、今後、市民からコースの紹介をいただく必要がある。 ・ウォーキングマップは 2～3 年置きに改訂を加えることで、市民に活用いただける物となる。また、継続して関心を払っていただける物となるを考える。 	
<p>(実施による予測効果) 公開されたウォーキングコースを活用して、近隣住民のウォーキング行動が増える。また、保健委員会等の健康づくり活動に活用できる。(5 ブロックの保健委員会がそれぞれに 1 回程度ウォーキング大会などの事業を行う。)</p> <p>実施又は採用が見込まれる課の範囲</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 当課のみ <input type="checkbox"/> 全庁の課 <input type="checkbox"/> 一部の課 (課程度) </p>	

10 「子育てするなら高松市」実現のための本庁舎改革

提案者	保健対策課 川西 沙奈恵	提案の種別	A (自由提案)
提案の概要	子育て世帯の来庁者へのサービス向上として、地下中央駐車場から本庁舎までのフラット化及び貸出ベビーカーの存在を周知し、さらにベビーカー置き場、キッズスペースを本庁舎内に設置することで、利用しやすい市役所を目指す。		
採用理由	本庁舎が子育て世帯にとって利用しにくい環境であることは事実であり、それを改善することは急務であり、貸出ベビーカーの周知とベビーカー置き場の設置を検討すべきである。ただし、本庁舎の構造上の問題があることから、地下中央駐車場から本庁舎へ向かう通路のスロープ化及びキッズスペースの導入は困難である。		

(詳細な内容)

●提案内容(新たな方策、工夫、改善等について、簡潔に記載してください。)

「子育てするなら高松市」の実現を目指す本市においては、子育てハンドブック「たかまつらっこ」を始め、市内外に誇れる各種事業があり、市内子育て世帯にも好評を博していると思います。

一方で、そのような事業を推進する本庁舎自体を顧みると、子育て世帯には利用しにくい環境になっているように感じており、子育て世帯の一人として、改善ポイントを4点提案します。

・高松市立中央駐車場から本庁舎へ向かう通路のスロープ化

本庁舎を利用する子育て世帯の大半は、ベビーカーを利用することが多いと思います。その場合、高松市立中央駐車場に車をとめ、本庁舎に向かいますが、その際、階段が多く、ベビーカーを利用する市民は、大きく迂回し、本庁舎に向かうことになっています。少しでも来やすい環境をつくるためにも、スロープ化は必要不可欠でありまして、この提案は、過去の市長提言や職員提案に何度も出てきており、再検討する必要があるのではないかと思います。

・貸出ベビーカーの周知

現在、本庁舎において、貸出ベビーカーがあることを知っている人は少なく、案内窓口やホームページにおいて、周知をする必要があると思います。きれいな貸出ベビーカーがあることが広く認識されれば、子供連れの母親の荷物が減り、来庁時の負担が減ると考えます。

・ベビーカー置き場の設置

窓口申請時に、ベビーカーを置く場所がなく、置き場に困り、時間を要することがあります。エレベーターホールの空きスペースに「ベビーカー置き場」という貼り紙を貼ることで、対応できると思いますので、特に、子ども関係の部署が集まっている6階等で設置を考えてみてはどうでしょうか。

・キッズスペースの導入

キッズスペースがあると、安心して窓口申請が可能であり、待ち時間が多少長くなっても苦にならないようになります。執務スペースの関係で難しいですが、他市では導入済みのところもあり、本市としても、設置の検討は必要ではないかと思います。



どのように、提案を実現するのか？

職員提案実施計画書

部局名	所属名
財政局	財産経営課
(職員提案をどのように実施していくか)	
1 目的 貸出用ベビーカーの存在を、市民に周知する。	
2 内容 貸出用ベビーカーの設置場所を庁舎案内図に表示するほか、市ホームページに掲載する。	
3 課題とその対応方針 ベビーカー置場については、市民からの要望や所管課からの依頼等も特に寄せられていないことから、当面実施しない。	
※ 実施又は採用が見込まれる課の範囲 ■当課のみ □全庁の課 □一部の課	

1 1 公共交通機関に無料 WI-FI 環境を整備し、観光客向けネットワーク環境をネットワーク化

提案者	ちゃんこ会（有志グループ）	提案の種別	A（自由提案）
提案の概要	訪日外国人観光客にニーズのある公共交通機関での無料 Wi-Fi 環境を整備し、香川県が整備している観光地や駅等での無料 Wi-Fi スポット（点）、高松市が整備を進める中央商店街等での無料 Wi-Fi 環境（エリア）を、移動媒体である公共交通機関（ライン）で結び、一体的なネットワーク環境を整備することで、移動時間を活用した情報収集・情報発信を行えるようにし、新たな観光客の誘致・掘り起こしを図る。		
採用理由	瀬戸内国際芸術祭やインバウンド需要の伸びなど、本市を訪れる外国人観光客が増加している中、彼らに需要のある無料 Wi-Fi 環境の整備により、さらなる誘客促進につながるが見込まれるため、実施すべきである。ただし、交通網を運営する民間事業者との合意形成やランニングコストの増加などの課題を考慮する必要がある。		

（詳細な内容）

●提案内容（新たな方策、工夫、改善等について、簡潔に記載してください。）

中央商店街等に無料 Wi-Fi 整備

【目的】外国人観光客の誘客促進・消費拡大

H27 年度

外国人訪問客

増大・獲得の

チャンス



SETOUCHI
TRIENNALE
2016

中央商店街などに無料Wi-Fi整備/高松市
2015/08/28 09:48

Twitter

高松市は27日、無料の公衆無線LANサービス「Wi-Fi（ワイファイ）」のアクセスエリアを、香川県高松市中央商店街などに本年度中に整備する方針を明らかにした。インターネットの利用環境を整えることで、香川県高松市内への外国人観光客の誘客促進や消費拡大につながる。

高松市は4日開会の9月定例議会に提案する2015年度一般会計補正予算案に、事業費8279万円を盛り込んだ。

来年5月の主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）に先立ち、4月に高松で情報通信相会合が開かれることを踏まえた試み。外国人観光客のニーズが高まり、情報通信網を拡大することで、海外からの誘客のセールスポイントにしたい考えだ。

市によると、Wi-Fiのアクセスエリアは香川県高松市丸亀町や兵衛町など8箇所すべてを対象に一律に整備。アーケード内であれば、スマートフォンやタブレット端末から無料でネットに接続できるようにする。香川県と連携し、JR高松駅周辺にも整備する方針。

外国人観光客向けに、観光案内やイベント情報を提供するデジタルサイネージ（電子看板）も整備する予定。設置場所は今後検討する。

また、県がNTT西日本香川支店と提携して提供する「かがわWi-Fi」のアクセススポットの拡大に向け、市内へのスポット設置者を対象にした助成事業にも取り組む。

四国新聞（H27/8/28）

観光客誘致

→ 観光客自身による情報発信・誘致

⇒ SNS への投稿

SNS の活用

○旅行中は、投稿意欲が高まる。

○旅行中は、投稿（情報発信）が増える。

外国人観光客の

訪日中のインターネット環境へのニーズ

○空港や駅といったスポットのほか、
公共交通機関（移動環境）においても
利用ニーズ、整備ニーズがある。

（参考資料：図3）

公共交通機関の利用促進

公共交通機関に無料 Wi-Fi 環境を整備

- 空港・駅から、目的地（訪問先）まで一続きの、文字通りの“ネットワーク”環境を整備。
- 公共交通機関を利用するメリットを高める。
- 移動中に目的地（訪問先）のさらなる魅力発見、情報収集が可能にする。



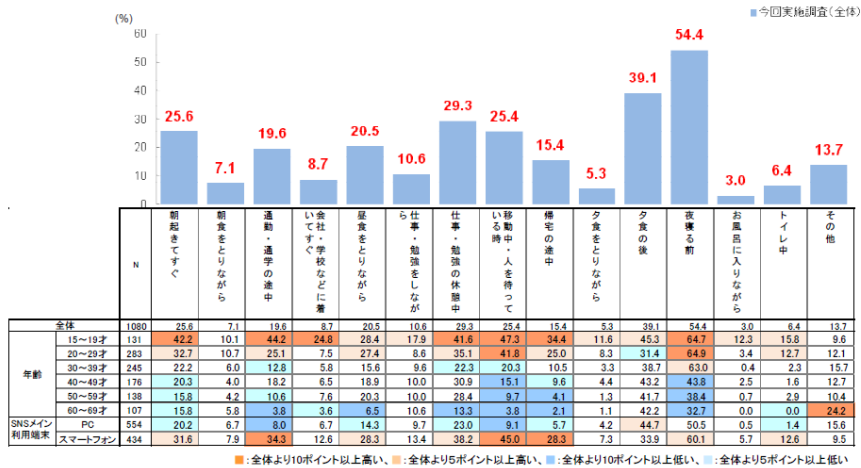
(参考資料)

Q あなたは、普段、「SNS(ソーシャルネットワークサービス)」をどのような時間帯に使われていますか？

図 1

全国ソーシャルメディア
ユーザー1000人調査
(第2回)/2013

博報堂 DY グループ
ソーシャルメディア・



旅行・レジャーでの SNS の利用 < SNS 利用者 n=388 >

図 2

旅行・レジャーにおける
スマートフォン利用調査
/2012

株式会社マクロミル
インモビージャパン株式会社

※注※ 日本人対象調査
→外国人も同様と考えられる



Q5: いつどこでインターネットを使用したいか(複数回答可、N=Q1で「今回の旅行中にインターネットを使用する」と答えた413人で%表示はそれを母数とした構成比)

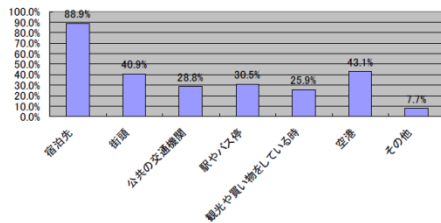


図 3

平成 24 年度 TIC 利用外国人旅行者 調査報告書

Q6: インターネットを使用したいのに使えなかったのはどこか(複数回答可、N=Q1で「今回の旅行中にインターネットを使用する」または「使用したかったができなかった」と回答した424人で%表示はそれを母数とした構成比)

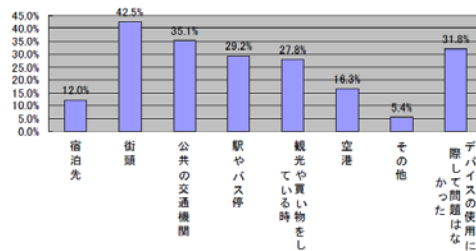


図 4

日本政府観光局 (JNTO) 事業連携推進部 観光情報戦略室



どのように、提案を実現するのか？

職員提案実施計画書

部局名 市民政策局	所属名 交通政策課
<p>(職員提案をどのように実施していくか)</p> <p>1 目的 本市を訪れる外国人観光客等の受入環境の向上</p> <p>2 内容 市内を運行する電車・バス等の公共交通機関に無料 Wi-Fi 設備を導入し、利便性向上を図る。</p> <p>3 課題とその対応方針 実施主体が交通事業者となること、また、公共交通利用者の無料 Wi-Fi に対するニーズを勘案すると、行政による支援がなければ実施は難しい。</p> <p>また、香川県と NTT 西日本香川支店が提供する「かがわ Wi-Fi」を導入する場合に限り、初期導入費用については香川県観光協会の補助制度が存在するが、その場合でも、運用費用は交通事業者負担となる。</p>	
<p>(実施による予測効果) 本市を訪れる外国人観光客等の受入環境の向上につながる。</p> <p>※実施又は採用が見込まれる課の範囲</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 当課のみ <input type="checkbox"/> 全庁の課 <input type="checkbox"/> 一部の課 <input type="checkbox"/> 一部の課 (課程度) </p>	

12-14 不採用となった提案

No.	題名	種別	概要	不採用理由
12	ドライブレコーダ機器導入に係る助成事業 ～高松市交通死亡事故多発非常事態宣言を受けて～	A	市内の死亡事故多発を受けて、高松市の交通マナー改善と事故発生時の状況の適正な把握のため、市内の個人保有の自動車にドライブレコーダを設置する費用(例・・使用中自動車:1万円、新車:2万円)を助成する制度を創設する。	ドライブレコーダーは、交通事故時の補償問題に発展した際の証拠として、個人がオプションとして利用するものであり、設置により交通事故が減少する等の効果も示されていないため、市としての実施は不適切である。
13	窓口課のたらい回し	A	市役所 1 階に窓口課を集めた総合窓口を設置する。	総合窓口については、これまでも様々な角度から検討を行っているものの、構造上の問題により、設置するスペースが確保できないため、設置が困難である。ただし、今後、案内所を1Fの市民広場跡地へ整備し、案内所機能の充実を図り、市民の方をスムーズに案内できる動線を確保することを検討する。
14	繁忙期の助け合い制度	A	繁忙期に残業が極端に多くなる課がある現状を打破するため、課の枠を超えた職員の助け合い制度を導入する。また、派遣し合う課間でポイントをやりとりして、インセンティブをつける。	業務の平準化や職員負担の軽減という観点から助け合いの考え方は重要であるが、ポイントを持っていても繁忙期と閑散期がうまくマッチしない場合、援助が得られない場合もあるなど、応援を必要とする所属と応援が可能な所属との調整が困難であるので、一時的な業務量の増大については、現行の局内相互応援制度を有効活用すべきである。